

雇用促進・就労定着 project

 株式会社とち帯広ヤマザキ

## 株式会社とち帯広ヤマザキ

### プロジェクトの4つの柱

情報発信  
教育  
組織拡大  
提言

企業にとって、障がい者にとって、  
そして地域社会にとって有益なもの  
なるよう、社会に貢献していきます

住所：〒080-2463

北海道帯広市西23条北1丁目2-3

電話：0155-37-5711

FAX：0155-37-4086

事業内容：パン・米飯・調理パン・惣菜等の製造

山崎製パンの子会社であり、親会社の理念である食品安全衛生管理の徹底と「真に価値ある製品と真に価値あるサービスの提供」の下、菓子パンとデリカ製品の製造を行っています。



Interview

株式会社とち帯広ヤマザキ  
取締役管理部長  
入野 純一

とち帯広ヤマザキは、1年365日24時間菓子パンとデリカ製品を作っています。私たちの仕事は、製品を作るだけではありません。毎日安全安心な製品を作ることにより北海道の皆様笑顔と感動をお届けすることを喜びとしています。この気持ちに共感して一緒に働く仲間を広く求めています。



ここが POINT !

現在 18 歳から 70 歳超までの幅広い年齢層の方が 171 名働いています。様々な障がいをお持ちの 9 名の方が短時間からフルタイムまで、製造ライン作業を主にさまざまな形態で勤務しています。働く気持ちさえしっかり持っていれば自分に合った働き方が見つかるかもしれません。

# INTERVIEW

私たちが働いています



令和4年3月入社

(7か月目)

クールデリカ部門

ファミリーマートの手伝いや  
ローソンのお弁当ラインで  
具材入れなどの作業を  
行っています。



できなかったことがやっているうちにできるようになり、やりがいに繋がっています。色々な仕事ができ、周りの人と話せることが楽しいと感じます。

ラインが早いと感じるときにどうしたらいいかわからず大変ですが、それをきちんと伝えられるようになったことが自身の成長だと感じています。

令和4年7月入社

(4か月目)

クールデリカ部門

お弁当の盛り付けやフタめ  
を行っています。



自分が盛り付けたものが店舗に並んでいると、「これ自分のだ!」「本当に並んでいるんだ!」と嬉しくなります。作りすぎてしまったときは半額で買えることも嬉しいです。

行程見本通りに置くことや、人が少ないときに時間に追われることは大変だと感じますが、頼りになる人がいることに助けられています。

神経質になりすぎる性格ですが、気にしすぎないように流したりできるようになりました。

平成26年入社

(8年目)

原材料の管理部門

段ボールに梱包された荷物  
に日付シールを貼り、  
在庫の管理を行っています。  
現場の動きに応じて在庫の  
出し入れをしています。



人と接するのは苦手ですが、限られた人との関わりの中で、与えられた仕事をコツコツとこなしていくことにやりがいを感じています。

衛生面や手順等のルールを覚えることに大変さはありますが、時間内で終わらせることで「ヒーローだな、頑張っているな」と嬉しくなります。

短気な性格を気を付け、もうちょっと頑張ろうという気持ちを持ち、落ち着いて仕事をするように心がけています。

私たちと一緒に働いて、北海道の人に美味しさと笑顔をとどけるとともに、自分自身の成長とスキルアップにチャレンジする仲間を求めています。